



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しるくま 



長野県立こども病院

No.90
令和5年.9.20発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第90号 発行日：令和5年9月20日 発行者：中村友彦
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<https://nagano-child.jp/> / ✉ kodomo-info@pref-nagano-hosp.jp

日本医療機能評価機構
当院は日本医療評価
機構の認定病院です



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達とその家族のために、質が高く、安全な医療を行います。

撮影：大畑淳



Contents

2023年度病院祭特集	1
中庭を囲むホスピタルアート	4
この人に聞く	6
私のオススメ	9
こころにお届けする絵本	10
栄養科通信	10
保育士だより	11
病院ボランティアさんのご紹介	12
小さな星の会	12
サポーターズボード	12
キョウノイチマイ・編集後記	13

2023年度病院祭特集

「地域の支えに感謝を込めて！ ～ともに歩んだ30年～」

病院祭実行委員長 小児集中治療科 大森 教雄

日時

2023年10月8日(日)
13時から16時まで

長野県立こども病院は1993年に創立され、今年で30周年を迎えます。多くの皆様のご理解・ご協力のもと、2007年からは例年10月の第1週目にこども病院祭が開催されています。このイベントは大変好評であり時には3000人近い方々に参加していただきました。

しかしながら、2019年10月に開催予定だった第11回こども病院祭は開催当日の台風19号のために止むを得ず中止となりました。2020年～2021年は新型コロナウイルス感染症の流行のため、開催はできませんでした。新型コロナウイルス感染症の流行状況をみながら昨年2022年に4年ぶりに「みんなで夢を育てよう」というテーマの中、小さな病院祭として短時間、屋外開催のみで開催することができました。

本年は新型コロナウイルス感染症が第5類に指定され、日常生活において多くの制限が解除された中、様々な社会



地域の支えに感謝を込めて！
～ともに歩んだ30年～

令和5年度 こども病院祭

2023. 10. 8日
13:00～16:00

イベント
 ● ちるくま音楽隊
 ● ちるくま合唱団
 ● 安曇野市中学校リーダーズバンド
 ● 豊科南小学校吹奏楽部
 ● 豊科南中学校吹奏楽部
 ● キッズニア/院内ツアー
 ● ドクターヘリ、ドクターカー、働く車の展示

詳細は
こども病院
ホームページを
確認してください

安曇野市豊科3100 長野県立こども病院
病院祭実行委員会 Tel:0263-73-6700

Nagano Children's Hospital

的な活動やイベントが行われています。そのような中、こども病院祭も開院30周年を記念して10月8日午後「地域の支えに感謝を込めて！～ともに歩んだ30年～」というテーマのもと開催することになりました。病院祭実行委員会で様々な議論を進める中で、本年も昨年同様に3時間という短時間で行うこと、屋外を中心に開催するという形にしました。例年のような著名人の講演会や様々な業者、団体による出店はありません。こども病院のスタッフ、地域の皆様と共に手作り感の溢れる病院祭として来場者の方々に楽しんでいただける病院祭にしたいと考えています。

正面入口のステージでは地域の子供達による吹奏楽やこども病院スタッフによる「ちるくま音楽隊」、「ちるくま合唱団」の演奏が行われます。その音楽を聴きながら、こども病院らしい毎年大人気の職業体験「キザニア」、病院内探検ツアーを中心に各部署のスタッフが一生懸命考えて多くの方々に楽しんでいただけるイベントを考えています。もちろん、当院を代表するドクターカー、ドクターヘリの展示も行う予定です。飲食や物品の販売はなく、いわゆるお祭り気分にはならないかもしれません。しかし、職員一同力を合わせて30年の感謝の気持ちを込めて準備をしていきます。どうかたくさんの皆様にご来場いただくことを職員一同、こころよりお待ちしております！

感染対策は通常通りの感染予防策に加えて、院内はマスク着用をお願いします。体調がすぐれない方の来場は控えていただきますようお願いします。駐車場、詳細なプログラムなどは当日が近づきましたらポスター、チラシ、病院

ホームページに案内がありますのでご確認の上、ご来場ください。

【ステージイベント】

入院患者さんや関係者のみが閲覧できるZoomによる配信を行う予定です。

ちるくま音楽隊：

当院のスタッフで2017年に結成された音楽隊で、病院祭にも毎回参加してくれています。今年も若い小中学生の演奏に負けない演奏をしてくれるはず！

豊科南小学校吹奏楽部：

小学4年生～6年生までの49人で活動しています。今年9月に行われる吹奏楽の東海大会に長野県代表として出場されます！

豊科南中学校吹奏楽部：

こども病院のお隣の中学校です。今年も昨年に引き続き病院祭に出演していただけることになりました。昨年度はとて素晴らしい演奏でした。今年も期待していいでしょう！

安曇野市中学生リーダーズバンド：

安曇野市内の中学校7校の吹奏楽部から選ばれた生徒で結成されたリーダーズバンドです。各中学校を代表したメンバーによる素晴らしい演奏、とても楽しみです。

ちるくま合唱団：

本年6月に結成された歴史のとっても浅い合唱団です。第一病棟の看護助手の浅川仁美団長を中心に歌好き、音楽好きの医師、看護師、薬剤師、保育士、事務員、ボランティアの方々、その家族など当院を支えてくれている仲間が集



正面入り口のステージ

まりました。合唱の指揮には古原さよ子先生をお迎えします。古原先生は当院が大切にしている宮越由貴奈ちゃんの詩「命」に曲をつけて、CD、楽譜集として全国に広められた音楽の先生です。その「命～電池が切れるまで」をみんなで合唱したいという思いで結成されました。ぜひ、楽しみに！

【キッズシアター】

毎年、好評をいただいていますキッズシアターです。薬剤部、検査科、看護部をはじめに、各診療科の協力のもと通常ではなかなか経験できない職業体験を実施していただきます。たくさん経験していただいた方には記念品もお渡しします。また、小さいお子様方にも楽しんでいただけるようなお祭りの縁日のようなことも企画しています。ぜひ、楽しみにしててください。



キッズシアター

【展示】

今年ももちろんドクターカー、ドクターヘリを展示します。ぜひ、近くで見たり、中に入ったりして見学してください。他にも消防車、パトカーなど働く車も展示されます。



ドクターカー



働く車の展示



ドクターヘリ

中庭を囲むホスピタルアート ～みんなで森を作ろう～

看護部 山崎 紀江

東の空に朝陽が顔を出すと、窓ガラスを通り抜けた光は鮮やかな色を帯びて、中庭沿いの廊下や壁に影を映します。窓ガラス窓に貼られているのは、色とりどりのフィルムシートに模られた森の中の生き物たちです。

昨年からの初夏にかけて、東京藝術大学美術学部デザイン科の皆様との療育ARTS企画として、中庭に面した廊下の窓を飾るワークショップを行いました。テーマは「森」。今回、完成に至るまでの過程をご紹介します。

【病院の中に、子どもたちにARTを…東京藝術大学との交流】

東京藝術大学と当院との交流のスタートは2017年にさかのぼります。当時企画された第2病棟の内装デザインプロジェクトは、“子どもたちが安心して楽しく過ごせる空間をつくる”という目標をもった、東京藝術大学と企業の共同事業でした。教員の丸山素直先生が率いる学生の方々とチームが、病棟を明るく優しく楽しい雰囲気に変えてくださいました。その後も交流を通じ、毎年、芸術を通して子どもたちが楽しめる機会をくださっています。

【療育ARTS企画2022…コロナ禍だからこそ考えたかった“アウトプット”できる場】

2022年、東京藝術大学との交流は継続していましたが、コロナ禍で阻まれることが多くありました。コロナ禍からできないのではなく、できる方法でできることを考えようと、オンライン会議等を重ねました。前年に事務部等のスタッフが中庭に面した廊下の窓へ飾りつけを行った際のアイディアを発展させ、コラボレーション企画を検討しました。最も大切にしたいのは、「アウトプットできる場を作ること」でした。コロナ禍では、人々がさまざまな制限の中、精神的にも抑圧されてきました。そこで、この企画を通じ、患者さんはもちろんのこと、ご家族、病院の



フィルムシートを各部署に配布



これはなんだろう？想像するのも楽しい

スタッフみんなのアイディアを形にし、結集させ、一つの作品を作りたかったのです。丸山先生とも意気投合し、準備を進めていただきました。

【ワークショップ第1弾（2023年3月）】

第1弾では、大きなフィルムシートを窓ガラスに貼りました。このシートは、その後、患者さんらに作成していただく様々な森の中の生き物が「映える」ステージとなる部分で、作品全体に統一感を出す重要な役割を果たすものでした。非常に難しい作業でしたが、東京藝術大学チームの職人技によって、2日間でステージは完成しました。



ステージ上に森の生き物たちが登場（1）



ステージ上に森の生き物たちが登場（2）



どうやってステージをつくらうか



みんながカットした森の生き物たち



窓の枠にもシートを這せる工夫も

【ワークショップ第2弾（2023年6月）】

第1弾終了後、各病棟や外来にフィルムシートを配布し、患者さんやきょうだい児などのご家族、院内のスタッフに森の生き物の形にシートをカットしていただきました。100名以上の方が制作へご参加くださいました。回収した様々な形にカットされたシートを貼る際には、何をイメージされたのか想像するだけでワクワクしました。2日間の作業で、中庭のガラス窓に森が完成しました。後日、自分のカットしたものを探しに来られる患者さんやスタッフも見られました。

今後も東京藝術大学と当院の交流を通して、療育環境はもちろんのこと、医療中のデザイン・芸術などの視点でコラボレーションしたいと夢は膨らみます。仲間も募集中ですので、興味のある方は是非、お声掛けください。今回、ワークショップにご参加いただいた全ての皆様、そして東京藝術大学の丸山先生をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



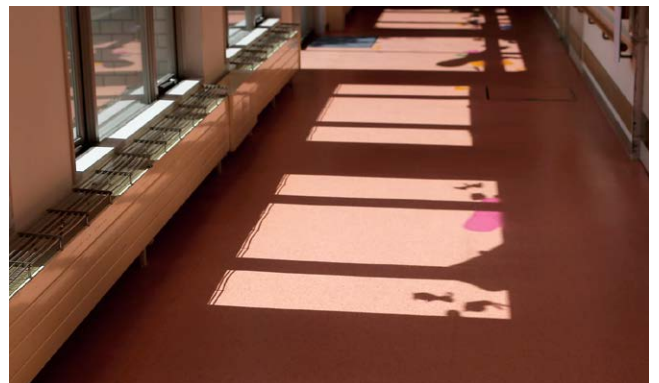
ロールカーテン越しの色とりどりの影（早朝）



通りがかりのスタッフも興味津々



大きなフィルムシートでステージを作ります



廊下に映る色とりどりの影



50回を迎えた当コーナーですが、今回は、本年度神経小児科に来られました山田慎二先生にお話を伺ってきました。

編) こども病院に赴任されたきっかけを教えてください。

山) 実は25年前くらいに働いたことがあります。54歳になります。

ここに来る前はこころの医療センター駒ヶ根に8~9年いて、その前はまつもと医療センター(中信松本医療センターと言われたところから)に10年くらいいて、その前が岡谷市民病院で、その前が国立精神神経センターにいました。将来のことを稲葉先生と話す機会があり、その時に声をかけていただいて、来ることになりました。

編) 久しぶりのこども病院はどうですか？

山) 忙しく、回転の速い病院だなと思います。前が駒ヶ根だったので、リズムというか流れが違いますね。実は来てから自分の不整脈が止まらないんですよ。早く病院のドックを受けたいんだけどね…。

編) 先生のご出身はどこですか？

山) 新潟県です。知り合いが信州大学小児科の医局にいて、小児科医になるのでこちらに来たのが長野県とのご縁です。大学は四国の香川大学です。たまたまそこしか受け入れてくれなかったというか、ご縁があったという感じですね…四国ではずっとうどんばっかり食べていました。

編) 幼少期のお話を聞かせてください。

山) 高校までは新潟でした。稲葉先生は高校の先輩なんです。高校の時は硬式テニスをやってました。幼少期の記憶があんまりないですが、テレビはよく見てましたね。アニメなんかはその当時流行っていたものが結構あったので…ルパン三世とか、ガンダムなんかですね…そういうのをよく観てました。だらだらテレビを見たり、本を読んだりしていましたね。本は推理小説やミステリーもあつたし、いろいろです。怪人二十面相とかルパンとか、面白かったですね。

編) 先生が最近ハマっていることを教えてください。

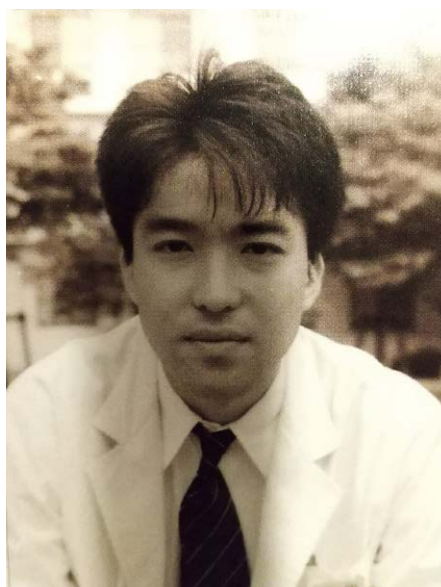
山) 一番最近ではまったのは、スキューバダイビングです。伊豆とか沖縄の海に潜ります。

編) はまったきっかけを教えてください。

山) ダイビングのプール講習というのがあって、機材を背負って水の中に“ぼんっ”とレギュレーターでマスクして潜るんですけども、プールに入って上を見ると、水面の波の感じとか見ながら水の底ですっとじーっとしながら“シュコー、シュコー”って呼吸しているのが結構プールでも楽しいんです。潜水が全然苦しくないイメージで動ける感じです。働き始めてから始めたんですが、こども病院の近くに今はなくなってしまったダイビングショップがあって、そこに通っていましたが、ライセンス取るために。伊豆の大瀬崎で免許を取りました。沖縄の海がきれい好きなんですが、ボートで沖合まで行ったり、交通費だったりでお金はかかりますね。ちょうど僕がライセンス取る前に、かみさんも取っていたので、それで僕も取ろうかなと



ぴかぴかの1年生



使用前



使用后



もうできない娘とのツーショット

思ったんです。年に何回か行ってたんですが、コロナ禍になって全く行けなくなりました。沖縄は海も生物もいいですね。ぼくは海の中を流すのが好きですね。流すのは迷うのでガイドをつけないとイケなくて、ガイドと決まったコースを回る感じです。1回に潜る時間は30～40分です。海面で揺れているときは酔うかもしれないですが、潜っちゃえば大丈夫ですよ。耳抜きがうまくできないと痛いので、耳抜きできるかどうかが大事です。海の中では、生物の写真なんかも撮ったりしてましたね。メジャーなのはオニイトマキエイ、いわゆるマンタです。見上げると結構大きい感じで、迫力があります。



浮かんでいるのが好きなんです

編) ニュースレターの新任医師紹介ではキャンピングカー購入の許可をもらったのが嬉しかったけど、キャンプが嫌いだと書かれていましたが…。

山) 嫌いではないんです。キャンピングカー持っているんですけど、実はキャンプが苦手だったんです。キャンプへの憧れはあって、ウイスキー飲みながら夜空を眺めるなんていいですよね、大人の感じで…。でも、もう行くのが億劫になったんです。まあ虫も苦手ですね。まだ娘も小さかったんですけど、あまり興味がいらしく…まあソロキャンプですね。ヒロシと一緒に。キャンピングカーは買うまでの過程が面白いんですよね。キャンピングカーショーに行って実際に中を覗くのがお勧めです。僕は埼玉のオーダーメイドできる会社に頼みました。ベッドを欲し



人魚のように



サンゴ海中から



ウデフリツノザヤウミウシ

いところで作ってくれたりできるんです。ハイエースの荷台がフルフラットにできるので、3人くらいは寝られます。座席もあって、6人は乗れるんですけども…僕しか乗らないんです。いろいろ装備はあって、一番便利なのは冷蔵庫かな。電子レンジもあるんですよ。でも電子レンジは今どこにでもあるし…そもそもキャンプにも行かなかったから全然使ってないんですよ（笑）。冷蔵庫は冷凍庫にもなるので、便利ですね。

水道もあるんですよ。水道の設備がないと8ナンバーにならなくて。トイレは簡易トイレを置けるんですが、これが一番便利なのは高速渋滞などですね、水道もトイレも1回も使ったことないですけどね。キャンピングカー買ったのに、虫が苦手です…もともとインドアで、僕の実家がキャンプをするような家ではなかったし…。小さいころからキャンプに行っていると、ハードルは低いですよ。実際泊りのキャンプは行ったことがなくて、「持ち腐れ号」と呼ばれてます（笑）。

編) 話題が戻りますが、先生のご専門を教えてください。

山) 小児心身症などの児童精神ですね。きっかけは20年くらい前に、小児精神神経学会ができたばかりで、発達障害とか心身症とかの分野が小児科の中でも始まってきたのもあって、内分泌をやっているとどうしても、気持ちの方も不調になる方がいらっちゃって、そんな関連もありましたね。希望としては、これからも小児心身症とか児童精神を中心に診ていきたいと思っています。現在は入院の体制などができていないので、外来ベースで少し広げられたらと思っています。長野県では、児童精神の入院施設は、駒ヶ根病院と信大病院、松南病院なんですが、僕も病棟改編の中で、ベッドがもらえればいいなあと思っています。摂食障害や心身症の子供であれば、皆の中において



うちの猫

も大丈夫かなと思うのですが、駒ヶ根病院だと、よりシビアな対応を必要とする子供たちが入院しているので、病院による役割の違いは出てくるとは思います。

編) 精神的な問題を抱えている子供たちと相對するとき先生が気を付けていることは何ですか？

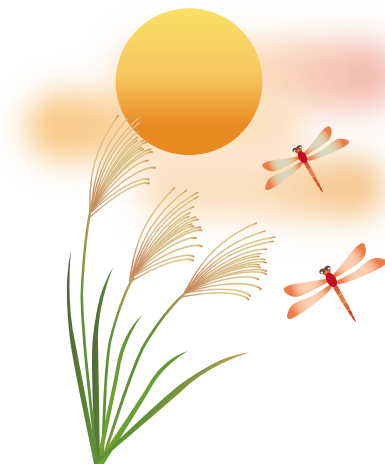
山) そうですね…どこの教科書にも書いてあるんですが、初診でまずは、「来てくれてありがとう」というメッセージを含めて対応するようにしています。そこから定期的に受診してくれて、悪いときもあれば良いときもあるので、その中で関係性ができてきて、高校に行って落ち着いた話とか、大学に行ったりだとか、作業所につながれたよなんという話を聞けたときには、良かったと思うし、とてもやる気になりますね。

編) 先生の座右の銘は？

山) 座右の銘はあんまりないですね…「人間だもの…」とは前回ニュースレターに書きましたけれどもね。「人間だもの…人間だものやっちゃったけどいいじゃないか」かな…やっちゃってもとは失敗しても、くじけてもの意味ですね。

最近肉が食べられなくなって、「茄子のあげびたし」が好きになった先生。今は単身赴任でこども病院にお勤めですが、休みの日には、奥さんが手料理を持たせてくれるそうです。時には宅配のミールキットも活用しながら料理もするそうです。単身時はさばの水煮缶と一緒にそうめんを主に食べていたり…楽しい雑談もしてくださいました。もっともっと話がしたいと思わせてくれた先生でした。今後は地域の病院とも連携しながら活動の幅を広げていきたいと抱負も語ってくれました。山田先生ありがとうございます。

(山崎 さとみ・藤沢 南季・山崎 かおり)



私のオススメ BEST5

リハビリテーション技術科

日誌 恵里子

倉田先生からのリレーで担当させていただきます。趣味は色々あるのですが、他ならぬ倉田先生からのご紹介ですので、普段あまり表に出していない一面を大公開！です。

今回は、私が実際に鑑賞した「印象派絵画」のBEST5です。皆さま、原田マハという作家をご存じですか？アンリ・ルソーの「夢」を題材とした「楽園のカンヴァス」や、ゴッホを題材とした「たゆたえども沈まず」など、いろいろな時代の画家とその絵にまつわる史実をもとにフィクションが加えられた作品を数多く出されています。それらの本に魅せられて、New YorkのMOMA(近代美術館)まで実物を見に行ってしまうました(笑)。皆さま、どうぞお楽しみください。

1位

「夢」 アンリ・ルソー

実物は204.5×298.5cmの大迫力！とにかく大きさに驚きました。この絵とマハさんのお話から美術館巡りにハマっていったので、その思い出も込め、やはり1番です。



2位

「薔薇」 フィンセント・ファン・ゴッホ

ゴッホも大好きな画家のひとりです。特有の絵具でんこ盛りのうねうねとした筆致の絵も好きですが、この絵はゴッホとは思えない、爽やかな風を感じます。

3位

「プット」 エゴン・シーレ

子どもを相手に仕事をしている人には、このかわいらしさを共感していただけるのではないかと思います。この肉付きやしわを表現する色使いがたまりませんね。



4位

「人形を持つ子ども」

アンリ・ルソー

おじさん顔の子ども、人形もなぜかわいくない、見るたびに思わずプツと笑ってしまうこの絵が何とも好きです。どうも私は変な絵が好きようです。皆さまも疲れた時にぜひどうぞ。



5位

「ヘレーネ・クリムトの肖像」

グスタフ・クリムト

見た瞬間、かわいい！何とも清楚でかわいらしい目を引く絵で、いつまでも記憶に残りました。ヘレーネはクリムトの姪にあたるそうです。無垢な感じがたまりません。



まだまだ見たい絵がたくさんあります。ピカソの「ゲルニカ」を見にスペインへ、はたまたゴッホ美術館のあるオランダへ…、行ってみたいものですね。次回は、一緒に登ったことはないのにお会いするといつも山の話になってしまう、遺伝科の武田良淳先生、お願いします。

こころにお届けする絵本

こころの支援科 チャイルド・ライフ・スペシャリスト 矢口 暁子

しろくまニューズレター7月号から始まった新企画「こころにお届けする本」のコーナー。第2回目は、絵本『ねこのピート だいすきなしろいくつ』をご紹介します。

「なんてこった！こんなはずじゃなかったのに！」いらいらしたり、がっかりしたり、落ち込んだり…ああもう布団をかぶって寝てしまいたい。誰もがそんな経験ありますね。

ねこのピートは、大好きな新しい白いくつが汚れてしまうハプニングに見舞われますが、ピートはそんなとき歌をうたうのです。「赤いくつ かなり最高！」と。

「なにがあっても 歌をうたって 前に進むってこと そうそれがだいじ！」ピートくん、なんて頼もしく、前向きなメッセージなんでしょう。そうか、うたって歩き出せば見える景色が変わったり、思いがけない発見があったりするかもしれない。

読んだあなたも、ピートと一緒に「かなり最高！」と思わず口ずさみたくなるかもしれません。巻末に楽譜もついていますよ。読んで、歌って楽しめる絵本です。当院のしろくま図書館にもあるので、気になる方はぜひ探してみてくださいね。



ねこのピート
だいすきなしろいくつ
作：エリック・リトウィン
絵：ジェームス・ディーン
訳：大友 剛
文字画：長谷川 義史
出版社：ひさかたチャイルド

栄養科通信 七夕献立

ご飯の人参、グラタンに添えたポテト、そうめん汁のオクラ…あちこちに星を取り入れたメニューにしました。七夕にそうめんを食べるのには「天の川に見立てた」「そうめんを糸に見立てて織姫のように縫物が上手になるように」など様々な理由があるそうです。(松浦 桂子)



幼児向け七夕食



学童向け七夕食

保育士だより

夏祭り

8月4日、今年も夏祭りが開催されました。子どもたちやご家族の皆さんが素敵な時間を過ごせるように考えながらの準備は私たち保育士、看護師もワクワクした気持ちになりました。

準備のお手伝いや、当日までに夏休みの宿題を終わらせると意気込んでいるお子さんもありました。いつもとは違う雰囲気の病棟を思い切り味わい景品やうちわをもらった子どもたちはニコニコ。各病棟には小児集中治療科の大森先生率いる愉快的な仲間たちの出張生演奏もありました。一緒に歌って踊ってみんなノリノリ♪

5病棟は日本の妖怪がテーマで、プレイルームのあちこちに可愛い妖怪を飾りました。

妖怪で暑い夏を吹き飛ばせ!!!

(浦野 結衣菜)



夏祭りコーナー



▲子どもの描いた妖怪



大森先生と愉快的な仲間たち



▲夏祭り準備

七夕

織姫と彦星が1年に1度だけ会える日として親しまれている七夕。

短冊に願い事を書いて笹に飾り付ける風習が有名ですが、これは、笹の葉が神様の投げ所と考えられているからです。そのため、神様に見えるように短冊や願いを込めた七夕飾りを飾るようになったとされています。

こども病院でもエントランスホールや各病棟に笹を飾り、願い事を書いた短冊や七夕飾りを飾りました。色とりどりのたくさんの短冊や飾りでいっぱいになりました。

みんなの願い、神様に届きますように…

(中村 佐友里)



病院ボランティアさんのご紹介 ボランティアコーディネーター 百瀬 絢子

今回は、長野県立こども病院の生け花ボランティアをご紹介します。
生け花ボランティアは、こども病院ボランティアの中でも長期間お世話になっているボランティア団体の1つで、『生け花の会』利休古流の皆さんが1年を通して定期的に活動をおこなってくれています。

活動内容は、院内各所に季節のお花を活けるボランティアで、常にお花を絶やさず病院を彩ってくれています。

『生け花の会』の皆さんが活けるお花は、患者さんや職員に好評で「このお花すてきだね。なんていうお花だろう。」そんな声や、「いつもすてきなお花をありがとう」とお花の横にそっとメッセージが添えられていることもあります。

病院にお越しの際は、ぜひ立ち止まってお花をお楽しみください。

- 長野県立こども病院 ボランティアコーディネーター
電 話：0263-73-6700 (代表)
受付時間：平日9時～16時



小さな星の会再開のお知らせ

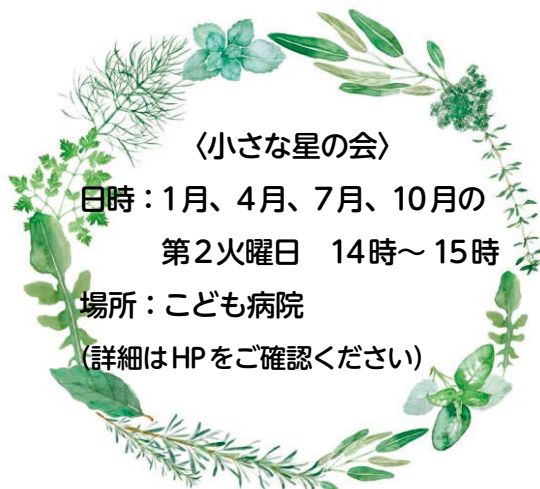


当院の患者さんで、お亡くなりになられたお子さんのご家族の会「小さな星の会」。コロナ禍ではしばらく休止していましたが、感染対策を講じた上で2023年1月から、年4回のペースで活動を再開しました。

悲しい気持ちはあるけれど人には話しづらい…。
向き合いたい気持ちと向き合いたくない気持ちがある…。
先生や看護師さんと久しぶりに話したい…。

そのようなご家族とひとときを分かち合う場をつくりたい、という思いで小さな星の会を開催しています。参加して下さるご家族のおかげで、温かな会になっています。

詳細やお申込み方法は長野県立こども病院のホームページからご確認をお願いします。



〈小さな星の会〉

日時：1月、4月、7月、10月の

第2火曜日 14時～15時

場所：こども病院

(詳細はHPをご確認ください)

- お問い合わせ先
長野県立こども病院 小さな星の会担当
0263-73-6700(代)

サポーターズボード (寄附者ご芳名)

令和5年6・7月にご寄附いただきました方々へ感謝の意を込めまして、ご芳名を掲載させていただきます。(希望されない方を除く) あたたかいご支援、ありがとうございました。

- 西澤 郁弥 様
- 株式会社トキワ防災電設 様
- 長野県女性薬剤師会 様
- 金野裕希任意団体 様
- 長野県長野高等学校図書委員会 様

ありがとう
ございました。



キョウノイチマイ

～イラスト & 解説 by 倉田 敬～

他のイラストを用意していたのですが、締め切り直前に観た「美しい暦」という1960年代の映画に出演されていた芦川いづみさんの美しさに衝撃を受け、つい描いてしまったものに変更しました（似てる似てないは置いて）。なのであえてラフな仕上がりに。吉永小百合さん主演でロケ地が松本だったことから軽い気持ちで見始め、日本にはこんなにキレイな女優さんが！！と目が釘付けになりました。昔の松本の風景も今と比較しながら楽しめる映画でした。



編集後記

しろくまニューズレターも第90号、「この人に聞く」のコーナーも第50回と節目を迎えました。こども病院も開院30年ということで、県内のテレビや新聞で取り上げられることが多くうれしい次第です。節目を迎えられるのも皆様のおかげです。さて話は変わりますが、我が息子がサッカーに一生懸命取り組んでいて、サッカーは観る派の私も練習に付き合っています。素人の私のアドバイスなど文字通り一蹴されることも多いですが、最近サッカーとゴルフの共通点を見だし、順回転のボールを遠くに飛ばすための遠心力、面の作り方や軌道など「ゴルフで言うと…」みたいにアドバイスすると受け入れやすいようです（私も一時期ゴルフのスイング理論など読み漁りました）。自分が理解している方法で異なる事象を解きほぐすことはその事象の実践にも役立つと思います。それが「経験値」ということなのでしょうか？

倉田

長野県立こども病院 外来医師担当表

2023年9月1日現在

外来名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
		午前	酒井 典子		松原 光宏 酒井 典子	松原 光宏
整形外科	午後	酒井 典子	高橋 淳(第3) 大場 悠己(第4)	松原 光宏 酒井 典子	酒井 典子(リハ装具)	
	午前		好沢 克 笠井 智子		好沢 克	
小児外科	午後		高見澤 滋 ヘルニア外来	高見澤 滋	好沢 克	笠井 智子
	午前	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練
眼科	午後	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝
	午前	南 村井 希成 健美	樋口 司		村井 健美	樋口 司
総合小児科	午後	頭痛外来(第2・4) 南 希成 (PM4時~5時予防接種相談)*2	樋口 司	樋口 司 南 希成(ワクチン接種) 村井 健美(ワクチン接種)	南 希成 (PM4時~5時予防接種相談)*2	
	午前	小池 由美				伊藤 靖典 徳永 舞
アレルギー科	午後	伊藤 靖典 小池 由美 徳永 舞	伊藤 靖典 小池 由美(第1・3)			小池 由美
	午前			丸山 悠太(第2・4)		
血液腫瘍科 膠原病・免疫不全外来	午後			坂下 一夫(第1)(移行医療支援)		
	午前	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	瀧間 浄宏(内科) 武井 黄太(内科)	小沼 武司(外科) 小嶋 愛(外科)	瀧間 浄宏(内科) 赤澤 陽平(内科) 益谷 悠馬(内科)	赤澤 陽平(内科)
循環器小児科 (内科・外科)	午後		赤澤 陽平(内科) 米原 恒介(内科)		武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 益谷 悠馬(内科)	武井 黄太(内科) 米原 恒介(内科) 益谷 悠馬(内科)
	午前		元木 博彦(第2・4)			
循環器小児科 成人先天性外来	午後					
循環器小児科 移行医療支援	午前					瀧間 浄宏(第1・3)
	午後			小岩井慶一郎		
放射線科	午前					
	午後					
リハビリテーション科	午前					リハビリ装具*3
	午後					
こころの診療科*1 (再診のみ)	午前					
	午後					
脳神経外科	午前	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐 千葉 晃裕	重田 裕明	重田 裕明	重田 裕明
	午後	宮入 洋祐 千葉 晃裕	宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明
泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	午前	市野みどり 井川 靖彦		市野みどり	市野みどり	
	午後	市野みどり 井川 靖彦		市野みどり		
神経小児科	午前	稲葉 雄二 本林 光雄	稲葉 雄二 那須野 将	稲葉 雄二 白井 真規	福山 哲広(第2・4) 本林 光雄 竹内史穂子 白井 真規	稲葉 雄二 本林 光雄
	午後	稲葉 雄二 本林 光雄 白井 真規	本林 光雄 那須野 将	竹内史穂子 那須野 将	坂口 友理 竹内史穂子 牧田みずほ(第4)	稲葉 雄二 本林 光雄
小児外科	午前					高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来)
	午後					高見澤 滋(胃腸・中心静脈栄養外来)
新生児科	午前	小田 新	廣間 武彦	小川 亮	田中 明里	亀井 良哉
	午後	小田 新	廣間 武彦	小川 亮	田中 明里	亀井 良哉
形成外科	午前	野口 昌彦 矢口貴一郎 小林 美晴		野口 昌彦 矢口貴一郎 小林 美晴	一之瀬 優子	永井 史緒
	午後	野口 昌彦 矢口貴一郎	一之瀬 優子	野口 昌彦 矢口貴一郎	野口 昌彦	野口 昌彦 紅 俊介 矢口貴一郎 永井 史緒
総合小児科	午前		竹内 浩一(内分・代謝) 大森 教雄(第1)(腎臓)	中山 佳子(第3)(消化器) 水城 弓絵(第2)(内分)	竹内 浩一(内分・代謝)	竹内 浩一(内分・代謝)
	午後		竹内 浩一(内分・代謝) 大森 教雄(第1)(腎臓)		竹内 浩一(内分・代謝)	
麻酔科	午前	大畑 淳				
	午後					
皮膚科	午前					
	午後					
遺伝科	午前		武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳
	午後	武田 良淳(第1・2) 古庄 知己(第4)	武田 良淳	武田 良淳	武田 良淳 武田 良淳(第1・2・4) 高野 亨子(第3)	武田 良淳
耳鼻咽喉科	午前	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子
	午後	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子
循環器小児科 胎児心臓外来	午前		米原 恒介			瀧間 浄宏
	午後		武井 黄太		赤澤 陽平	
産科 成育女性外来*4	午前	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子
	午後	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子	吉田 志朗 寺尾美代子 いちご外来	吉田 志朗 寺尾美代子 助産師外来	吉田 志朗 寺尾美代子
血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	午前	坂下 一夫		坂下 一夫	坂下 一夫	倉田 敬
	午後	坂下 一夫 倉田 敬		倉田 敬	坂下 一夫	倉田 敬
リハビリテーション科	午前	五味 優子	三澤 由佳		中嶋 英子 村田 マサ子	五味 優子
	午後	三澤 由佳	三澤 由佳	三澤 由佳(第4)(移行医療支援)		三澤 由佳
こころの診療科*1 (再診のみ)	午前					
	午後					

*1 こころの診療科は、再診のみです。外来の初診受付していません。
 *2 長野県予防接種センター相談
 *3 リハビリ装具は整形外科酒井医師の診察となります。
 *4 成育女性外来は寺尾医師の診察となります。

文字が小さく見にくい方は
こちらから閲覧できます



★診察時間：午前9時～午後4時
 ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

予約専用電話 ★受診には、原則として
予約が必要です。
0263-73-5300